

学校給食・ドッグラン・アスベスト

猪股嘉直 議員
(日本共産党)

◆①8月の宮城沖地震で、PFI事業で建設、運営されている仙台市の健康施設が天井崩れを起こし、27人のけが人が出た。国交省の調査によると、PFI業者が仙台市の示した仕様書通りの工事をしていなかったとのこと。仙台市は工事終了後に仕様書通りに行われているかの確認義務は無いと。学校給食をPFIで行おうとしている当市として、この事故から何を学ぶのか？

②給食センター建て替えの用地に柏原小、入間川中を選んだ根拠は？

③現時点での住民説明ではどのような意見が出ているか？説明会では資料にはない数字を持ち出すなど、真摯な態度でなく、住民から不信の声も出ている。

④直営方式の方がPFIより一年早く建設できる。未来を担う子供たちの大事な「食」は公共の仕事として行うべきだが、見解を。

教育長 ①公共施設工事は、市の責務として施工監理する必要が有ると考える。また、事故の調査結果を当市の工事に生かしていく。②市街化調整区域にあり、建設に必要な敷地面積が確保

できることなどから配置予定校とした。③柏原小学校への配置には、搬入路の問題、環境への配慮等について意見が出ている。

市長 ④PFI手法が最も適切であり、予定通り円滑に推進していきたい。

◆市の持っている未利用地で、ドッグランに使える土地の使用を検討できないか？

◆昨年からはじめた犬のしつけ教室が好評。今年の計画は？

環境部長 ドッグランの調査検討を継続し、しつけ教室は実施回数を3回に増やす予定である。

◆当市の施設でのアスベストの使用状況は？

保育所、学校、公民館などの公共施設でのアスベスト除去などの対策は？

建設部長 市庁舎、小・中学校の一部等で、アスベストを含有する可能性のある吹きつけ材を確認しており、早急に分析調査を実施し対応を協議する。



上赤坂のドッグラン

一般質問

入曽駅前20年 このままでいいか

内笹井 務 議員
(日本共産党)

◆入曽駅周辺整備の計画と現状について

狭山市は、入曽駅東口地区約7・3ヘクタールについて区画整理事業を行うと説明してきました。

①権利者との合意形成は、今日の段階でどのようになっていくのか。

②区画整理の概事業費は80数億円と発表されているが、事業費の確保の見通しがなければ、事業の選択は不可能になります。この面での検討はどのようにならざるか。

③適切な規模の駅前広場と、歩道を備えた道路の整備だけで十分という意見もあります。「高齢化が急速に進む時代に見合った街づくりを急いでほしい」という市民の声は強いものがあります。これらの市民要望を検討してきただけか。

まちづくり推進部長 ①権利者意向調査や戸別訪問により合意形成を図り、現在8割近い権利者の賛同を得ている。②全庁的な行財政運営の中で十分検討していきたい。③商業と住宅が両立する「くらし、いきいきするまち」を基本とし、住民の意向を尊重しながら

ら、まちづくりを進めている。

◆緊急の入曽駅周辺整備の必要性について

平成20年の都市計画決定で、7・3ヘクタールを区画整理すると、狭山市駅東口区画整理事業で明らかのように、これから20年近い歳月がたないと整備ができない可能性もある。市民が安心して駅を利用できるように、最小限の駅前広場の確保、道路の整備は、まさに緊急の課題なのは。将来に向けての本格的な街づくりを見据えながら、同時に、緊急の対応をすることが街づくりの在り方として必要になっていくのではないかと。

市長 入曽駅周辺整備は重要課題と認識しているが、事業期間は事業着手後15年程度要するものと考えている。その間、駅前の危険状態を解消するため、交通緩和や歩行者の安全確保等の周辺環境整備を、まちづくり協議会や関係者と検討していきたい。



駅前広場もなく
危険な入曽駅

行財政改革・

狭山市駅西口開発

広森 すみ子 議員
(日本共産党)

◆くらしが守られる「行革」を

総務省は、行政の「民間化」の方向を強く打ち出した「新地方行革指針」を策定し、各地方自治体に通知した。「指針」では「行革大綱」の見直しとともに、05～09年度までの「集中改革プラン」の公表を求めている。これは政府の意に沿った「行革」を徹底させるものではないか。どう対応するか。狭山市で進めてきた「行革」は、保育料の値上げ、公民館使用料の徴収、老人手当の廃止など市民負担増と福祉サービス切り捨てだ。地方自治体の役割は「住民福祉の増進」にある。その立場での行革に取り組んでもらいたい。

市長 行財政改革には狭山市の意思として取り組んでいるところだが、全国レベルで各自治体の状況を比較できるようにするという国の指針目的にも沿うようにしていきたい。また、行財政改革は当市の行政運営に必要不可欠なものであり、市民に直接影響する分野もあるが協力をお願いしていく。

◆狭山市駅西口開発の見直しを

市長は財政が大変だとして「聖域な

き行政改革」を表明している。ならば狭山市駅西口開発(事業費273億円)の縮小見直しが必要ではないか。

狭山市駅西口再開発事業は住民がこの地で生き、暮らしていけること、財政の均衡が取れることが必要だ。権利者の合意形成、生活再建の具体的手立ではどう進められているのか。

駅前ビルをつくり、市の施設を入れる計画だが、「再開発ありき」で税金を投入する新しい形でのハコモノ行政ではないか。駅前開発で人間商業街の活性化が図られる見直しはあるか。

市長 狭山市駅西口開発事業の精査、見直しに今後とも取り組んでいく。駅前の公益施設整備は行政サービスとして効果的かつ効果的であると考える。また、商店街の活性化に向けては、各種取り組みを一体的に推進し、集客力を高めていきたい。

まちづくり推進部長 地元権利者組織と検討、協議を重ねてきたが、権利者個々が将来にわたり不安のない生活再建が構築できるよう、話し合いを続ける中で理解と合意を得ていきたい。



一般質問

北海道旭山動物園から 学んだこと

中川 浩 議員
(プロジェクト21)

◆狭山市の魅力づくりパート2

旭山動物園では、そこに勤務している職員が動物園の理想像を自分たちで追い求めようと、まめに勉強会をし、スケッチにまとめた(それがかなうかどうか分からなくても)。園長はその実現のため、市の幹部に掛け合った。結果として12枚のスケッチのうち6枚が現時点で実現している。

狭山市にも、智光山こども動物園があり、熱心な取り組みによって、よく新聞等で紹介されているが、現場の職員が考えていることは何か？動物園に限らず、現場の職員の描く政策の実現をどうしていくのか？

建設部長 動物園の管理運営を行っている施設管理公社職員からは開園日数を増やすなどの意見も出ている。引き続き、園内の連絡調整会議を定期的に開催し、適切な管理運営に努めていく。
総合政策部長 職員が事業に対する企画等を自由に提案し、それを取り上げていく仕組みを更に充実させていく。

◆狭山市駅東口にできた駐輪場
①なぜ市のサービスで、こだけ完全自己負担なのか？



旭山動物園のような動物園に

②審議会などで市民に料金について意見を聞かず、市が決めたのは理解できない。
③都内の方が料金が安い所が多く、ここが高いのは納得いかない。

市民部長 ①料金は管理運営を行う財団法人自転車駐車場整備センターの政策投資銀行への償還金額及び管理費をもとに、民間料金水準等を考慮し設定した。②自転車等駐車対策協議会で、整備センターと協議していく旨の報告をしているが、結果的に、その調整等に時間を要したため、市民への周知期間が短くなってしまった。③都内の料金設定が低いことは認識しているが、それは施設建設時期や自治体の建設負担金拠出額等が要因であると考える。
◆新狭山駅の近くに駐輪場整備を
市民部長 新狭山駅周辺に自転車駐車場として利用できる土地を確保することは難しい。今後は、まだ余裕がある第12駐車場の利用促進を図っていく。

今後の子育て支援・ 脳ドッグ検診

向田 千寿子 議員
(公明党)

◆人口減少に対応する子育て支援について

これからの社会、働く女性が安心して結婚できる環境、子供を産み育てることのできる環境を整備することが必要です。これから子供を産む人たちにだけ経済的、心理的負担をかけることのないようにしなければ、未来を担う子供の人口は増えないと思います。

狭山市の出生率は現在1・09であり、今後“1”を割り込みかねません。この先、市民が納得のいくような子育て支援策をお考えにならないと、人口減少をストップできないと思います。



す。どのようにお考えかご意見をお伺いします。

市長 当市では子供たちが健やかに生まれ育つ環境づくりを推進するため、平成17年3月に次世代育成支援計画を策定した。この計画は市民アンケート結果を踏まえ、市民や学識経験者等から組織された策定委員会の検討を経て策定され、施策を体系的かつ具体的に示したものである。今後、計画の着実な推進に努めながら、実施状況検証の際に、状況の変化に応じた施策についても考えていきたい。

◆脳ドッグ検診について

高齢社会と言われる日本。日々の生活を健やかに生きるため、健康予防が何より重要です。自分の健康を自分で管理できる幸せ。医療が進歩した今日、長寿国となり、医療負担も増加しております。脳の病気が死亡を免れても後遺症として障害が残り、寝たきりや認知症の原因となって家族の負担は大変です。脳ドッグは予防医学の見地からも高く評価されており、市民の生命財産を守り、更に医療費の抑制効果もありますので、脳ドッグ検診の普及促進を図るため、今後の取り組みについてお伺いします。

福祉部長

脳ドッグ検診の助成については、現在、その検診を実施している医療機関に限られていること等から、その実施については狭山医師会との合意に至っていないが、引き続き協議していきたい。

一般質問

議会日誌

6月

- 21日(火) ▽埼玉県防衛協会定期総会へ議長出席(さいたま市)
- 29日(水) ▽財団法人埼玉県自治会館役員会へ議長出席(さいたま市)
- 30日(木) ▽市街地整備促進特別委員会

7月

- 11日(月) ▽全国市議会議長会基地協議会会計監査、正副会長・監事・相談役会議及び理事会へ議長出席(東京都千代田区)
- 15日(金) ▽全国市議会議長会基地協議会関東部会正副会長・監事・相談役会議へ議長出席(千葉県木更津市)

8月

- 4日(木) ▽五市議会議長会・事務局長意見交換会へ正副議長出席(日高市)
- 19日(金) ▽埼玉県市議会議長会第二区議長会新旧正副議長研修会へ正副議長、前正副議長出席(狭山市)
- 24日(水) ▽基地対策特別委員会
- 26日(金) ▽議会運営委員会

9月

- 2日(金) ▽平成17年9月定例会(会期20日)
 - 26日(月) ▽決算特別委員会
 - 27日(火) ▽市街地整備促進特別委員会
 - 29日(木) ▽30日(金)
- ▽埼玉県市議会議長会第二区議長会先進都市視察研修へ正副議長出席(福島県会津若松市)

10月

- 3日(月) ▽決算特別委員会
 - 4日(火) ▽6日(木)
- ▽文教厚生委員会行政視察
- 茨城県日立市・安全安心まちづくり
 - 栃木県栃木市・福祉トータルサポートセンター
 - 千葉県流山市・クリーンセンター(リサイクルプラザ)
- ▽建設委員会行政視察(写真)
- 大阪府豊中市・蛍池駅西地区市街地再開発事業
 - 奈良県王寺町・水と緑のネットワーク事業
 - 大阪府高石市・高石駅東B地区市街地再開発事業

